



幸いなことよ。悪者のはかりごとには歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかつた、その人。  
まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。

# 暗唱聖句

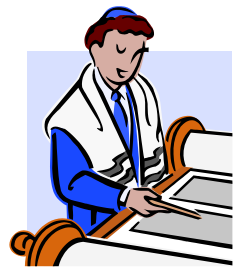
「声に出して読みたい日本語」という本が注目を浴びました。音読や日本語のリズムに慣れさせることの大切さが今さらながら強調されています。

聖書の民と言われたユダヤ人たちは紀元前から「聖書を唱える・覚える」ことを重要視してきました。中世のヨーロッパでは、ユダヤ人たちの識字率はとても高いものでした。彼らが文字を読む必要を感じていたのは、「聖書」を自分で読み、覚える必要があると考えたからです。ユダヤ人男性は十三歳で宗教上の成人となりますが、その式で、本人がヘブライ語で聖書を朗読することになっていきます。

今回は、Eが暗唱した聖書のこ  
とばを紹介しましょう。

# E G G P L A N T

エッグプラント  
那須ファミリー  
ホームスクール通信  
2005.10.1  
No.15



その人は、水路のそばに植わった木のようだ。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。

悪者は、それとは違い、まさしく、風が吹き飛ばすもみからのようだ。

それゆえ、悪者は、さばきの中に立ちおおせず、罪人は、正しい者のつどいに立てない。

まことに、主は、正しい者の道を知っておられる。しかし、悪者の道は滅びつせる。

(詩篇一篇)

これは旧約聖書の詩篇です。詩篇は、神に対する祈り・願い・訴え・叫びです。新約聖書の「あなたの敵を愛しなさい。・・・」という優しいイメージを抱いてこれを読むと戸惑うことがあります。神の正義についてはつきりと記されているからです。「愛と正義」は聖書全体を貫くテーマです。すなわち、悪を赦さず、必ず正当な裁きをもたらす「神の義」と、罪人を愛し、救いを提供する「神の愛」は表裏一体なのです。私たちが聖書を理解する上で誤解しやすいことが二つあります。一つは、悪いことをしても人が見ていなければ、また人に迷惑をかけなければ悪くないという「神の義に対する誤解」です。典型的な例は自殺に対する捉え方でしょう。

聖書から見ると、自殺は「自分に対する殺人」です。二つめは、自分なんて価値がない、愛されるようなものではないという自己卑下の捉え方です。「神の愛」は人間の弱さを覆います。ちょうど言うことを聞かない、親不孝の子どもでも親はいつくしみ、愛の手を差し伸べるように・・・親の愛の源は、創造主にあります。(K)

## 「けいろうの日のしょくじかい」

E

九月十九日のけいろうの日に古市のおじいちゃんとおばあちゃんをぼくの家にしようたいしました。みんなでごはんを食べました。そのごはんはお兄ちゃんが作ったポテトサラダやお姉ちゃんが作ったピザもありました。けどぼくは何も作りませんでした。おじいちゃんたちのためにお兄ちゃんやお姉ちゃんがピアノをひいたり歌を歌ったりしました。ぼくは、しへん一ぺんぜんぶあんしょうしました。

妹はしへん二十三ぺんぜんぶをあんしょうしました。そして、さいごにおじいちゃんたちとみんなで作ったせいしょカルタをしてあそびました。おじいちゃんが「はじめはホームスクールのすることはしんぱいだったけどきょうのようすを見てほんとうにあんしんしたよ。」と言ってくれました。ぼくはうれしかったです。

お母さんは、うれしくてなきそうだったです。

## いっぴないっぴな！ 行事報告

### 九月

- 一〜三日 ホームスクーリング琵琶湖キャンプ
- 十六日 おいも掘り
- 十七日 大阪感動探検隊  
「大阪城の謎探検」コース一回目
- 十八日 空手昇級審査
- 十九日 敬老の日の食事会
- 二十三日 「大阪城の謎探検」コース二回目
- 二十四日 親子でフアイト生涯学習講座  
紙芝居と駄菓子屋さん遊び

### Mの読書コーナー

#### 「八十日間世界一周」

ジュール・ベルヌ著

これはあの「海底二万里」や「十五年漂流記」などで有名な「あらゆる時代を通じて最大の文学的天才」といわれる科学冒険小説家のベルヌが書いた本です。

冷静寡黙で何もかもが謎である英国紳士フィリアス・フォッグ氏。ある日とあるところで、八十日間で世界一周をできるかということで大議論になり、成功したら大金持ち、失敗したら破産というほどの財産を賭け、フォッグ氏は召使いのパルパストゥーとともに八十日間世界一周の旅に出かけます。また二人を大泥棒と間違えて、執念深く追跡してくる刑事フィックス。ベルヌは近代空想科学小説の先駆者と言われている多くの科学冒険小説を書いています。今回は少し傾向が変わって、ユーモアとサスペンスがあふれたとてもおもしろい物語になっています。ぜひ読んでください。

びわ湖キャンプに参加したみんな



敬老の日に、祖父、祖母と食事  
をしたり、遊んだりしました。



びわ湖の朝日。ビューティフル！

### おいもほり

M

九月十六日おいも掘りに行きました。じゃがいも掘りの時と同様にPさんたちも一緒でした。途中で教会に来ていたT兄に会って一緒に参加することになりました。おじいちゃんの家に着くとおじいちゃんとおばあちゃんが待っていて、おやつを食べべから畑に行きました。さつまいもを植えている所はとても広かったです。

みんな早速掘り始めて行きました。Eは考古学者みたいに掘っていて、Mちゃんは大胆に掘っていて、みんないろいろ掘り方をしていました。AくんとRはいもより、そこらへんにいるバッタが気に入ったようで、ずっと捕まえては遊んでいました。どのさつまいもも深く根を張っていて、なかなか掘っても出てきませんでした。おじいちゃんがくわを使ってあっとい間に掘り出したのです。すごいなと思いました。一番いっぱい掘れたのは恵利也でした。全部集めるとダンボール一箱分になりました。いっぱいさつまいものおみやげももらってとても楽しかったです。

### 編集後記

夏休みの最後の思い出になった琵琶湖キャンプ。創造主の作品である大自然の中で楽しく過ごしました。たくさんの方が準備やお世話をしてくださって本当に感謝です。受けてばかりの我が家ですが、いずれの日にか一家をあげてお返しを…。